

# NEWS

## 職長・安全衛生責任者教育 及び再教育研修会開催

- ・日 時：10月16日（水）～17日（木）  
両日共に午前9時から
- ・場 所：名古屋国際会議場 231会議室  
（名古屋市熱田区）
- ・参加者：25社 36名（再教育1名）

安全衛生委員会（伊藤泰雄委員長）では、企業の法令遵守及び会員の皆様の安全意識の更なる向上を図るため「職長・安全衛生責任者教育及び再教育研修会」を開催しました。再教育は、職長教育又は職長・安全衛生責任者教育を受講後5年以上経過した方を対象としています。講師は（株）辻安全サービスセンター所長 辻 宏夫氏をお招きしました。

初日の開会挨拶では、安全衛生委員長 伊藤泰雄氏から業務における安全衛生の重要性について話があり、続いてオリエンテーションが行われました。



挨拶をする  
伊藤安全衛生委員長

研修担当の辻講師から、職長・安全衛生責任者の職務、安全施工サイクルの仕組み、作業中における効果的な監督及び指示の仕方について講義がありました。研修はグループ形式にて進められ、職長として職務を遂行する上で、配慮すべき点についてストーリー化された映像を見て感想を述べ合い、同じ様な事例が身近にないかを話し合い、気づきを促しました。また、いくつかの事例を挙げ、実践として活用できるような話がありました。



講演をする  
（株）辻安全サービスセンター辻所長

二日目は同講師より、安全施工サイクルと現地KYの続き、現地KYの取組みとリスクアセスメント、

新規入場者教育、効果的な指導及び教育の進め方、について解説がありました。

当協会専務理事 堀部隆司氏からは「日本の廃棄物処理の歴史と今後の展開」と題して、循環型社会に関わる法制度の歴史、公衆衛生について近代化以降の状況・戦後・高度成長期について講義がありました。中でも四大公害病といわれる水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくについて、課題解決のための対策として、廃棄物処理の基本体制の整備、公害対策の基本原則と有害物質の排出規制、適正処理の推進、有害廃棄物の適正な埋立処理等について解説されました。第四次循環型社会形成推進基本計画（2018年6月）の持続可能な社会づくりとの統合的な取組の中から、地域循環共生圏の形成について、「地域循環圏」から「地域循環共生圏」の形成に向けて、①地域資源・既存施設の活用（豊橋市）、②広域化・統合管理の取組（福岡県南筑後地域）を事例として挙げ講義を終えました。



講義をする  
堀部専務理事

その後、辻講師から災害発生時における措置、ヒューマンエラー防止対策について解説があり、二日間の講義を終えました。

